

# HEART

株主のみなさまへ

第33期中間事業報告書(平成16年4月1日～平成16年9月30日)



**XEBIO**  
 ゼビオ株式会社  
 XEBIO CO.,LTD.

# HEART

## C O N T E N T S

株主の皆様へ	①
店舗数推移	
中間連結財務諸表(要約)	②
個別中間財務諸表(要約)	③
XEBIO NEWS	④
株式の状況	⑤
会社の概要・店舗分布状況	⑥
店舗一覧	⑬



新規/スポーツグッズゼビオドーム札幌門前店

平成11年11月11日にオープンした、札幌新緑ビル207号、当社スポーツグッズの最大店である「スポーツグッズゼビオドーム札幌門前店」は、今年でオープン20周年を迎えました。アウトドアイスト、スケール感に合わせた、売場に関する進化を加え、お客様をおもてなししております。

また平成16年12月3日には、札幌市北区北平に「スポーツグッズゼビオ札幌大平店」がオープンいたしました。

## 【株主の皆様へ】

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご指導を賜りありがとうございます。当社第33期中間期(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)の営業の概況についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、輸出、設備投資が拡大するなかで企業業績の改善傾向がみられたものの、原材料・原油価格上昇の影響もあり、雇用・所得環境においては本格的な改善



ゼビオ株式会社 代表取締役社長

諸橋 友良

Tomoyoshi Morohashi

がみられない状況でありました。小売業界におきましても、4月に導入された消費税総額表示などによる消費環境の不透明感、台風や猛暑などの天候状況からも若干影響を受ける結果となりました。当社グループにおいては、売上では計画に若干達しなかったものの、コア事業であるスポーツ既存店が前年同期比100.1%となり、全社既存店では、99.7%、全社で107.3%の46,672百万円となりました。販売費及び一般管理費は計画より下回り、営業利益は3,845百万円と計画を上回ることができました。営業外損益では、為替差益を営業外収益に200百万円計上したことなどにより、経常利益は前年同期比117.5%の4,190百万円となりました。また、当中間期から財務体質の一層の強化と財務諸表の透明性を高めるため、「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することといたしました。これにより、当社が保有する土地、賃貸用不動産などを中心に減損処理を行い、2,810百万円の特別損失を計上したため、中間純利益は973百万円となり増収減益となりました。

当社はカテゴリーキラー（特定分野の商品群において圧倒的な品揃えを行う小売業態）としてスポーツ事業を積極拡大していく方針のもとに、スポーツの殿堂をテーマにしたスポーツへの夢や憧れといった楽しめる売り場作りを推進してまいりました。

スポーツ事業部門といたしましては、店舗からの情報を活かしたタイムリーな商品展開と、売場での成功事例を全店に波及させ、情報共有と実践を進めてまいりました。また商品力の強化とともに競技者層のニーズに応えるため、スポーツナビゲーターによるカウンセリングセールスを行い、ゴルフ工房の配置や野球、テニス用品のお買い上げ商品の店内加工、メンテナンスなどを強化してまいりました。また家族でも楽しめる休憩スペースの設置など、お客様満足度の強化も図ってまいりました。

ネクスト事業におきましては、英国SPAブランド「ネクスト」の浸透を図ってまいりました。ベーシックの中にも時代性を表現したデザイン、英国ならではの商品展開を行ってまいりました。特に当中間期におきましては、ブランド力の強化に加え、メンバーズ会員の新規獲得と、ポイントキャンペーンによるロイヤルカスタマーへの拡大策を進めてまいりました。これらの結果、客単価は増加いたしました。台風や天候などの影響を受け秋物スタートが低調となったため、既存店は増収を達成することはできませんでした。

連結子会社である清稜山株式会社は、研修福利厚生施設を運営しており、業績は順調に推移いたしました。また、当中間期より、ゼビオビジネスサービス株式会社を設立し（連結子会社）、定型業務のバックオフィスとして業務を委託し効率化を進めることといたしました。

皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 通期の見通し

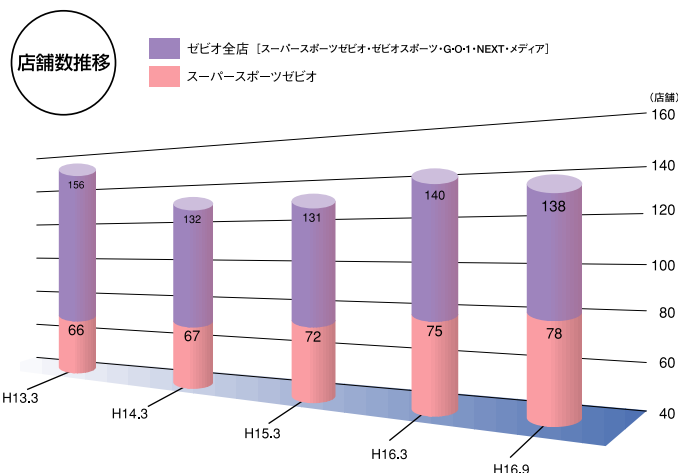
通期の見通しにつきましては、「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用したため、期初の計画を一部修正いたしました。

下期につきましては、日本経済の景気回復は続いているもののその勢いは弱まりつつあります。個人消費につきましても慎重な行動が予想されております。そのような状況のもと、お客様の視点にたった店舗作り、地域特性や、ニーズに応えた商品提案を行い、「お客様の声」を積極的に取り入れた店舗運営を行ってまいります。新設店舗といたしましては、スーパースポーツゼビオ5店舗、ネクスト2店舗を計画しております。

（単位：百万円）

連 結	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
平成17年3月期予測	99,595	9,080	3,530
平成16年3月期実績	92,253	8,461	4,241
前期比	108.0%	107.3%	83.2%

個 別	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
平成17年3月期予測	99,101	9,006	3,489
平成16年3月期実績	91,718	8,373	4,190
前期比	108.0%	107.5%	83.3%





# 中間連結財務諸表 (要約)

(単位:百万円)

## 中間連結貸借対照表

	当中間期 (平成16年9月30日)	前中間期 (平成15年9月30日)	前 期 (平成16年3月31日)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	50,302	45,197	56,628
現金及び預金	27,510	24,551	32,859
売掛金	1,568	1,435	1,752
有価証券	999	1,499	1,499
たな卸資産	18,566	16,306	18,859
その他	1,658	1,404	1,659
貸倒引当金	△0	△1	△1
<b>固定資産</b>	40,443	42,236	41,246
有形固定資産	17,441	19,668	19,242
建物及び構築物	8,902	9,908	9,774
土地	7,208	8,827	8,596
その他	1,331	932	871
無形固定資産	370	526	387
投資その他の資産	22,631	22,041	21,615
投資有価証券	667	1,114	705
差入保証金	9,806	9,968	9,707
敷金	6,871	6,395	6,143
その他	5,904	4,843	5,957
貸倒引当金	△618	△279	△898
<b>資産合計</b>	<b>90,746</b>	<b>87,434</b>	<b>97,875</b>

### 資産合計

総資産は、前期に比べ7,129百万円減少し、90,746百万円となりました。この主な要因は、支払手形、支払信託及び買掛金の決済や新店投資などにより現金及び預金が5,348百万円減少したこと、固定資産(主に土地、建物)の減損会計を導入したことによります。

### 負債合計

負債合計は、前期に比べ6,796百万円減少いたしました。主な要因は、流動負債において、支払手形、支払信託および買掛金の決済により6,820百万円減少したことによります。

(単位:百万円)

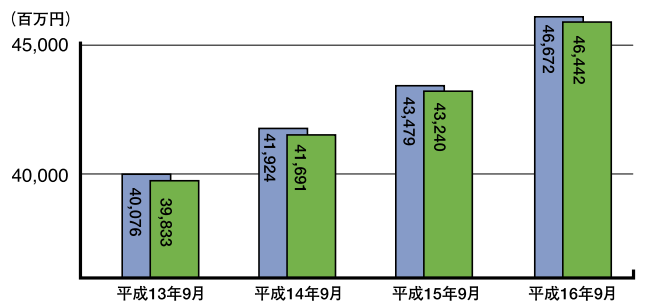
## 中間連結貸借対照表

	当中間期 (平成16年9月30日)	前中間期 (平成15年9月30日)	前 期 (平成16年3月31日)
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	22,758	20,471	29,579
支払手形、支払信託及び買掛金	18,205	16,214	23,751
一年以内返済予定長期借入金	—	2	—
未払法人税等	1,629	1,441	2,401
賞与引当金	448	458	459
ポイントサービス引当金	586	479	551
その他	1,887	1,874	2,416
<b>固定負債</b>	1,798	1,738	1,774
長期借入金	—	3	—
退職給付引当金	990	676	806
役員退職慰労引当金	40	41	47
事業整理損失引当金	—	197	177
その他	767	818	742
<b>負債合計</b>	<b>24,557</b>	<b>22,209</b>	<b>31,353</b>
<b>資本の部</b>			
資本金	15,935	15,935	15,935
資本剰余金	15,990	15,907	15,915
利益剰余金	36,730	34,476	36,396
その他有価証券評価差額金	191	136	206
<b>自己株式</b>	<b>△2,658</b>	<b>△1,230</b>	<b>△1,932</b>
<b>資本合計</b>	<b>66,189</b>	<b>65,225</b>	<b>66,521</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>90,746</b>	<b>87,434</b>	<b>97,875</b>

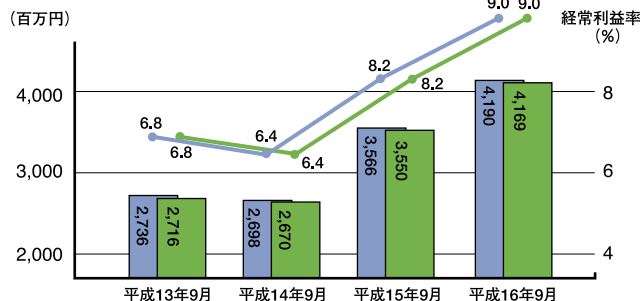
### 自己株式

当期は、317千株、1,016百万円の自己株式取得を実施したことにより増加いたしました。

## 売上高



## 経常利益



# 中間連結財務諸表(要約)

(単位:百万円)

## 中間連結損益計算書

	当中間期	前中間期	前 期
	自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
売上高	46,672	43,479	92,253
売上原価	29,850	28,017	59,200
売上総利益	16,822	15,461	33,052
販売費及び一般管理費	12,976	11,760	24,323
営業利益	3,845	3,701	8,729
営業外収益	815	680	1,298
受取利息	55	43	93
受取配当金	4	5	6
不動産賃貸収入	481	562	1,082
為替差益	200	—	—
その他	72	68	116
営業外費用	470	815	1,567
支払利息	—	0	0
為替差損	—	238	392
不動産賃貸費用	461	547	1,057
その他	9	29	116
経常利益	4,190	3,566	8,461
特別利益	387	217	222
貸倒引当金戻入益	280	8	7
投資有価証券売却益	—	2	2
預り保証金解約益	—	3	8
保険金収入	—	202	202
事業整理損失引当金戻入益	106	—	—
特別損失	2,873	500	1,212
貸倒引当金繰入額	—	175	710
固定資産除却損	14	—	48
投資有価証券評価損	—	0	26
投資有価証券売却損	6	—	—
退職給付引当金繰入額	41	41	82
役員退職慰労金	—	256	256
災害損失	—	27	24
減損損失	2,810	—	—
その他	—	—	64
税金等調整前中間(当期)純利益	1,704	3,283	7,470
法人税、住民税及び事業税	1,534	1,433	3,785
法人税等調整額	△803	△13	△555
中間(当期)純利益	973	1,863	4,241

(単位:百万円)

## 中間連結剰余金計算書

	当中間期	前中間期	前 期
	自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高	15,915	15,907	15,907
資本剰余金増加高			
自己株式処分差益	74	—	8
資本剰余金中間期末(期末)残高	15,990	15,907	15,915
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	36,396	33,080	33,080
利益剰余金増加高			
中間(当期)純利益	973	1,863	4,241
利益剰余金減少高			
配当金	630	458	916
役員賞与	9	8	8
利益剰余金中間期末(期末)残高	36,730	34,476	36,396

### 経常利益

販売費及び一般管理費で効率的な支出が図られ営業利益が3,845百万円と計画を上回りました。また営業外損益では円安の影響により為替差益を営業外収益に200百万円計上したことなどにより、経常利益は、前年同期比117.5%の4,190百万円となりました。

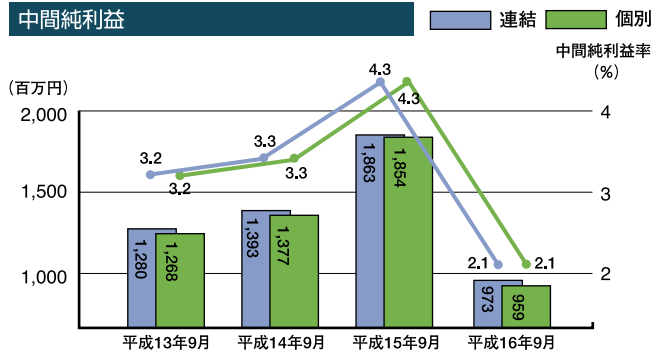
### 特別損失、中間(当期)純利益

当期より「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用いたしました。当社が保有する土地、賃貸用不動産などを中心に減損処理を行い、減損損失として2,810百万円の特別損失を計上いたしました。その結果、中間(当期)純利益は973百万円となりました。

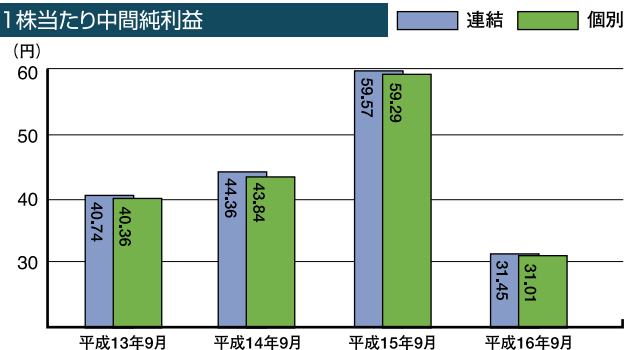
### 減損会計とは?

減損会計とは、『固定資産の減損に係る会計基準』といい、平成18年3月期より全体的な上場企業に対して実施が義務付けられているものです。企業が所有している固定資産(本社や支店の土地・建物、工場の生産設備、賃貸ビルなどの不動産)が対象となります。この会計制度を導入することで、企業が所有している資産の含み損(時間の経過によって価値が下がってしまったもの)などが表面化し、会計の透明性や比較可能性を図ることができます。企業にとっては、事業自体の収益性の測定を厳然に行う必要性を求められることになります。

## 中間純利益



## 1株当たり中間純利益



# 中間連結財務諸表(要約)

(単位:百万円)

中間連結 キャッシュ・フロー計算書	当中間期	前中間期	前 期
	自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前中間(当期)純利益	1,704	3,283	7,470
減価償却費	753	776	1,593
減損損失	2,810	—	—
ポイントサービス引当金の増加額	35	36	107
退職給付引当金の増加額	183	127	257
役員退職慰労引当金の減少額	△7	△206	△199
受取利息及び受取配当金	△59	△49	△99
支払利息	—	0	0
為替差損益(益:△)	△187	264	416
固定資産売却損	14	—	48
投資有価証券評価損	—	0	26
売上債権の増減額(増加:△)	183	254	△62
たな卸資産の増減額(増加:△)	292	2,416	△136
仕入債務の減少額	△5,510	△7,368	△0
未払消費税等の増減額(減少:△)	△390	△33	114
その他	△633	△408	653
<b>小計</b>	<b>△810</b>	<b>△906</b>	<b>10,191</b>
利息及び配当金の受取額	18	14	25
利息の支払額	—	△0	△0
法人税等の支払額	△2,391	△1,671	△3,063
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△3,184</b>	<b>△2,563</b>	<b>7,153</b>

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前中間期に比べ620百万円減少し、3,184百万円の支出となりました。これは、減損損失計上前利益は増加したものの、前中間期に比べ法人税等の支払額が720百万円増加したことなどが主な要因であります。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、前中間期に比べ2,695百万円増加し、881百万円の支出となりました。これは、前中間期に比べ出店による投資の支出はあったものの、3ヵ月を超える定期預金の払戻による収入2,000百万円の増加や有価証券の売買等による収支(純額)で1,499百万円増加したことなどによります。

(単位:百万円)

中間連結 キャッシュ・フロー計算書	当中間期	前中間期	前 期
	自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>			
定期預金の預入による支出	△2,000	△2,000	△2,000
定期預金の払戻による収入	2,000	—	—
有価証券の売買等による収支(純額)	500	△999	△499
有形固定資産の取得による支出	△620	△581	△1,056
無形固定資産の取得による支出	△58	△27	△37
敷金・保証金の差入による支出	△1,115	△344	△1,031
敷金・保証金の返還による収入	427	393	901
その他	△13	△17	△74
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△881</b>	<b>△3,577</b>	<b>△3,798</b>
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>			
長期借入金の返済による支出	—	△6	△12
自己株式の取得による支出	△1,016	△1	△732
自己株式の売却による収入	365	—	38
配当金の支払額	△630	△458	△917
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△1,281</b>	<b>△466</b>	<b>△1,624</b>
<b>現金及び現金同等物に係る 換算差額</b>	<b>△1</b>	<b>△7</b>	<b>△39</b>
<b>現金及び現金同等物の 増減額(減少:△)</b>	<b>△5,348</b>	<b>△6,615</b>	<b>1,691</b>
<b>現金及び現金同等物の 期首残高</b>	<b>30,859</b>	<b>29,167</b>	<b>29,167</b>
<b>現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高</b>	<b>25,510</b>	<b>22,551</b>	<b>30,859</b>

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前中間期に比べ815百万円減少し、1,281百万円の支出となりました。これは自己株式を1,016百万円取得したほか、配当金の支払630百万円が主な要因であります。

# 個別中間財務諸表(要約)

(単位:百万円)

## 中間貸借対照表

	当中間期 (平成16年9月30日)	前中間期 (平成15年9月30日)	前 期 (平成16年3月31日)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	50,241	45,190	56,580
現金及び預金	27,426	24,518	32,784
売掛金	1,560	1,431	1,750
有価証券	999	1,499	1,499
たな卸資産	18,564	16,303	18,856
その他	1,690	1,437	1,690
貸倒引当金	△ 0	△ 0	△ 1
<b>固定資産</b>	40,675	42,455	41,459
有形固定資産	16,458	19,155	18,737
建物	7,937	9,155	9,052
土地	6,719	8,530	8,300
その他	1,801	1,468	1,384
無形固定資産	369	524	386
投資その他の資産	23,847	22,775	22,335
投資有価証券	666	1,112	703
長期貸付金	1,611	1,651	1,631
差入保証金	9,806	9,968	9,707
敷金	6,871	6,395	6,143
その他	5,510	3,927	5,048
貸倒引当金	△619	△280	△899
<b>資産合計</b>	<b>90,916</b>	<b>87,645</b>	<b>98,040</b>

(単位:百万円)

## 中間損益計算書

	当中間期 自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	前中間期 自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	前 期 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
<b>売上高</b>	46,442	43,240	91,718
<b>売上原価</b>	29,790	27,955	59,064
<b>売上総利益</b>	16,652	15,285	32,654
<b>販売費及び一般管理費</b>	12,838	11,620	24,042
<b>営業利益</b>	3,813	3,664	8,611
営業外収益	840	707	1,349
営業外費用	484	821	1,586
<b>経常利益</b>	4,169	3,550	8,373
特別利益	388	217	222
特別損失	2,873	500	1,212
<b>税引前中間(当期)純利益</b>	1,683	3,266	7,383
法人税、住民税及び事業税	1,528	1,424	3,746
法人税等調整額	△804	△12	△553
<b>中間(当期)純利益</b>	959	1,854	4,190
前期繰越利益	991	598	598
中間配当額	—	—	458
<b>中間(当期)未処分利益</b>	1,951	2,452	4,330

(単位:百万円)

## 中間貸借対照表

	当中間期 (平成16年9月30日)	前中間期 (平成15年9月30日)	前 期 (平成16年3月31日)
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	22,714	20,426	29,515
支払手形	1,961	1,849	1,921
支払信託	10,647	10,039	16,102
買掛金	5,586	4,315	5,715
未払法人税等	1,623	1,432	2,379
賞与引当金	443	453	453
ポイントサービス引当金	586	479	551
その他	1,864	1,856	2,391
<b>固定負債</b>	1,639	1,564	1,615
退職給付引当金	988	675	805
役員退職慰労引当金	40	41	47
事業整理損失引当金	—	197	177
預り保証金	573	650	585
その他	37	—	—
<b>負債合計</b>	<b>24,353</b>	<b>21,991</b>	<b>31,131</b>
<b>資本の部</b>			
<b>資本金</b>	15,935	15,935	15,935
<b>資本剰余金</b>	15,990	15,907	15,915
<b>利益剰余金</b>	37,104	34,905	36,783
その他有価証券評価差額金	191	136	206
自己株式	△ 2,658	△ 1,230	△ 1,932
<b>資本合計</b>	<b>66,563</b>	<b>65,654</b>	<b>66,908</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>90,916</b>	<b>87,645</b>	<b>98,040</b>

## ●『スーパースポーツゼビオ』千葉県内で出店拡大

平成11年に千葉県初出店となった『スーパースポーツゼビオ かしわ沼南WOOWCITY店』を皮切りに、平成16年10月29日、「TOKYO-BAYららぽーとイースト」にオープンした『スーパースポーツゼビオ TOKYO-BAYららぽーとイースト店』、平成16年11月27日にオープンした『スーパースポーツゼビオ新浦安店』を加えると、千葉県内の店舗数は7店舗となりました。国道16号線をカバーするようなドミナントエリアを形成しております。今後もこのようなドミナントエリアを形成するように、西日本を中心として出店拡大していく予定です。

店舗作りでは、従来のアウトドアテイストに加え、スポーツの殿堂や憧れを演出に加えたスポーツアスリートフィールドを表現してきました。そして、今回オープンした『スーパースポーツゼビオ TOKYO-BAYららぽーとイースト店』では、約100種類の水を集めたコーナーに、サプリメントや健康器具コーナーを併設し、“からだの中からきれいになる”

をキーワードに、健康に着目したコーナーを新たな試みとして導入いたしました。また同店舗には“スポーツとカジュアルの融合”をコンセプトとしたショップ、『X'tyle』がオープ



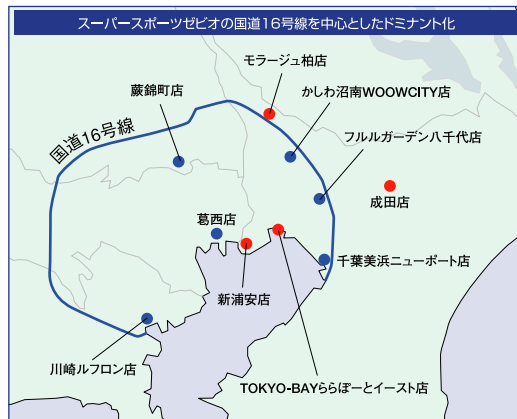
●スポーツとカジュアルの融合「X'tyle」



●約100種類の水を集めたミネラルウォーターコーナー

んいたしました。店内にはスポーツブランドのヴィンテージ商品や小物が並び、照明なども落ちついた雰囲気の今までにない新たなショップとなっております。

## >>> SUPER SPORT XEBIO



●は第33期新規開店店舗

スーパースポーツゼビオ TOKYO-BAYららぽーとイースト店

住所…千葉県船橋市浜町二丁目1番1号

電話番号…047-410-1131

## ●『NEXTモザイク銀座阪急店』オープン

平成16年10月8日、東京都中央区の「モザイク銀座阪急」に『NEXTモザイク銀座阪急店』がオープンいたしました。チルドレンズの商品構成となっており、おしゃれに敏感なお客様に、NEXTならではのファッションを楽しんでいただける店舗作りとなっております。



●NEXTモザイク銀座阪急店

NEXTモザイク銀座阪急店

住所…東京都中央区銀座五丁目2番1号 モザイク銀座阪急B1F

電話番号…03-6252-3455

## >>> NEXT



### 第33期新規店舗

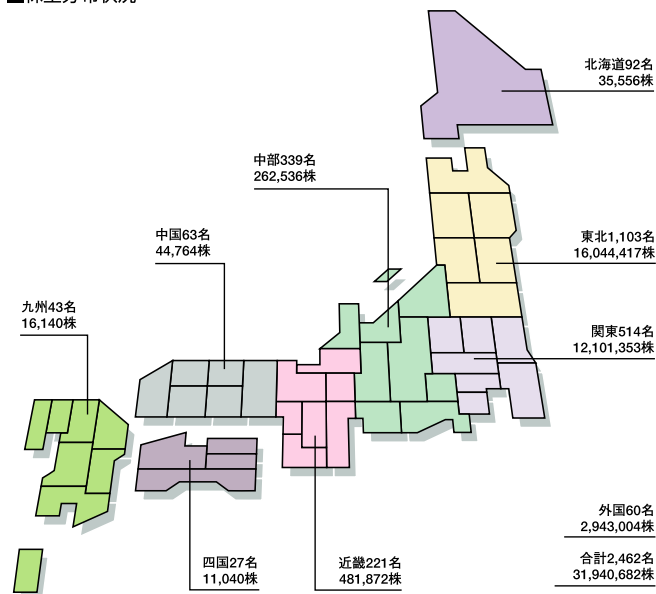
平成16年 4月 スーパースポーツゼビオ成田店  
 平成16年 4月 スーパースポーツゼビオ秋田茨島店  
 平成16年 6月 スーパースポーツゼビオ熊本ゆめタウン光の森店  
 平成16年 7月 スーパースポーツゼビオモラージュ柏店  
 平成16年 7月 NEXT佐野プレミアム・アウトレット店  
 平成16年10月 NEXTモザイク銀座阪急店

平成16年10月 スーパースポーツゼビオ TOKYO-BAYららぽーとイースト店  
 平成16年11月 スーパースポーツゼビオららぽーと甲子園店  
 平成16年11月 NEXTららぽーと甲子園店  
 平成16年11月 スーパースポーツゼビオ奈良店  
 平成16年11月 スーパースポーツゼビオ新浦安店  
 平成16年12月 スーパースポーツゼビオ札幌太平店



# 株式の状況 (平成16年9月30日現在)

## ■株主分布状況

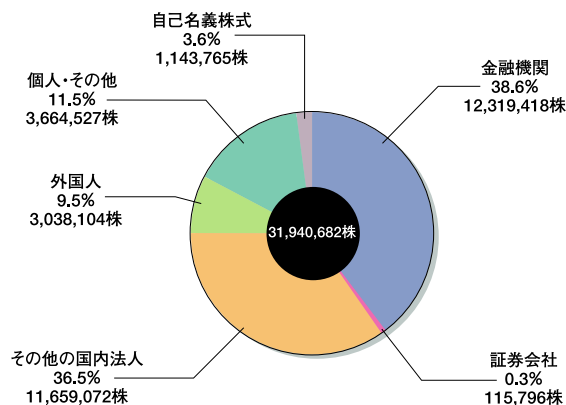


## ■大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
有限会社 サンビック	5,501,737	17.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,757,500	15.46
財団法人 諸橋近代美術館	3,000,000	9.75
有限会社 ティー・ティー・シー	2,747,644	8.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,164,400	7.03
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託A口)	995,700	3.23
諸橋輝子	928,243	3.01
諸橋友良	781,700	2.54
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	611,000	1.98
諸橋寛子	600,598	1.95

(注1) 上記信託銀行の持株数のうちには信託業務に係るものが含まれております。  
 (注2) 当社は自己株式1,143,765株を保有しておりますが、議決権がないため、上記の大株主から除外しております。  
 (注3) 当社の大株主への出資はありません。

- 発行する株式の総数 ..... 90,000,000株
- 発行済株式総数 ..... 31,940,682株
- 株主総数 ..... 2,462名
- 単元株主数 ..... 2,234名
- 所有者別株式分布状況



## ■株主メモ

- 決算期 毎年3月31日
- 株主確定基準日 (1) 定時株主総会・利益配当金 3月31日  
(2) 中間配当金 9月30日  
その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定める。
- 定時株主総会 6月
- 決算公告 下記ホームページアドレスにて掲載しております。  
<http://www.xebio.co.jp/>
- 株式名義書換  
名義書換代理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番2号  
東京証券代行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番2号  
東京証券代行株式会社 TEL03-3212-4611
- 同取次所 東京証券代行株式会社各営業所、取次所
- 単元未満株式の買取請求取扱場所 上記名義書換代理人の事務取扱場所及び事務取次所  
お取り扱いいたしております。

## ■株主様ご優待

「株主特別御優待券」は、お買物額の10%を割引させていただく優待券です。年に2回、100株以上保有株主様には5枚、1,000株以上保有株主様には10枚を贈呈いたしております。是非、お近くの店舗でご利用ください。







スーパースポーツ  
ゼビオドーム札幌月寒店



# XEBIO

## XEBIO社名の由来

社名XEBIOには2つの意味が託されています。

- ① 社会的使命として XEBIO: XECHORISTOS + BIOS  
(個性的な) (生活)

ファッション、スポーツだけでなく当社がめざす「お客様のライフスタイルをトータルにクリエイトする」というコンセプトを社名に託したものです。

- ② 全社員のポリシーとして eXpanding & Energetic BIOs  
(拡大する) (活動的な) (生命)

意欲的に未来に取り組む姿勢を表したものです。